

らいぶらいいにゅーす2018 No. 6

◎ 新学期が始まってから、早半年が経ちました

いつの間にか、季節はすっかり秋模様となってきました。夜はすっかり冷えますが、急な気温の変化で風邪などひいていませんか？ さて、標題にも書いたように、新学期が始まってから早半年が経ち、折り返し地点に到達しました。残り半分、悔いのないように学生生活を思いっきり楽しんでください！

◎ 《特集①》『〇〇の秋』

食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋と、様々なことを楽しむのに最適とされる季節がやってきました。この、たくさんある「〇〇の秋」を、本を通じて楽しむのも良いかなと思い、各々の秋についてテーマ分けをしましたので、一部を紹介します。本を読んで、秋を更に楽しみましょう♪



食欲の秋：「ランチのアッコちゃん」 柚木麻子／双葉社
彼氏にフラれて落ち込んでいた派遣社員の澤田三智子は、畏怖する上司、通称“アッコ女史”こと黒田敦子部長から突然、一週間のランチ交換を命じられる。アッコ女史の風変わりなお昼のコースを巡るうち、自然と活力が湧いている自分に気づいて……。表題作ほか、「読むと元気になる！」と絶賛され、本屋大賞にもノミネートされたビタミン小説。



芸術の秋

芸術の秋：「羊と鋼の森」 宮下奈都／文春文庫
高校生の時、ピアノ調律師の板鳥と出会って以来、調律に魅せられた外村は、調律師として働き始める。ひたすら音と向き合う外村。個性豊かな先輩たちや双子の姉妹に囲まれながら、調律の森へと深く分け入っていく——。一人の青年が成長する姿を、温かく穏やかに描いた感動作。



◎ 《特集②》『ハロウィン』

10月31日はハロウィンです。定番のフレーズ「トリックオアトリート」は日本語に訳すと「お菓子をくれないとイタズラするぞ」ですが、もともとは収穫を邪魔する悪霊を追い払うためにケーキを捧げる習慣だったそうです。さてそんなハロウィンにちなみ、「魔法」に関連した本を選びました。



「紙の魔術師」 チャーリー・N・ホームバーグ／早川書房
魔術が高度な専門技術とみなされる1900年代初めのロンドン。魔術師養成学院を卒業したシオニーは、金属の魔術師になりたかったのに、人気のない紙の魔術の実習を命じられた。師匠は変わり者で、はじめは気が進まなかったが、次第に紙の魔術の魅力と師匠の優しさに気づきはじめる。そんなある日、師匠が禁断の魔術の使い手に襲撃され……。魔法きらめく歴史ファンタジー。



新しく入った本



「火のないところに煙は」 芹沢央／著

「神楽坂を舞台に怪談を書きませんか」。突然の依頼に、かつての凄惨な体験が作家の脳裏に浮かぶ。解けない謎、救えなかった友人、そこから逃げ出した自分。作家は、事件を小説にすることで解決を自論むが——。本年度ミステリ・ランキングの大本命！



「ぼぎわんが、来る」 澤村伊智／著

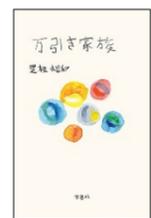
生誕を目前にした娘からの電話、後輩が負った正体不明の噛み傷、周囲に届く不審なメールや電話。一連の怪異は、“ぼぎわん”という化け物の仕業なのだろうか？さまざまな要素を孕んだノンストップ・ホラー！今冬、岡田准一主演で映画化。



「神様の御用人1〜7」 浅葉なつ／著



野球をあきらめ、おまけに就職先まで失った萩原良彦。彼がある日突然命じられたのは、神様の願いを聞く“御用人”の役目だった。人間味溢れる日本中の神様に振り回され、モフモフの狐神・黄金と共に東奔西走する、ハートウォーミング神様物語。



「万引き家族」 是枝裕和／著

万引きで生計をたてる柴田治と息子、家から閉め出されており見かねて連れ帰った少女、そして妻、祖母、妻の妹。幸せに暮らす家族だが、ある出来事を境に「秘密」が明らかになる。本年、加賀国際映画祭「ムド」賞受賞作を監督自ら小説化。

「はたらく細胞01〜05」 清水茜／著

肺炎球菌、スギ花粉症、インフルエンザ、すり傷。次々とこの世界(体)を襲う脅威。その時、体の中ではどんな攻防が繰り広げられているのか？白血球、赤血球、血小板、B細胞、T細胞等。彼らは働く、24時間365日休みなく！アニメ化もされた話題の作品。



「ハイキュー!! 小説版1〜9」 古館春一／著

練習・料理・おつかい!? IH予選前に行われた烏野高校バレー一部GW強化合宿! 激戦を勝ち抜くため猛特訓&共同生活に励む日向たち。本編では明かされなかった“もうひとつの合宿の景色”。



「日本のヤバイ女の子」はらだ有彩／著



日本の昔話や神話に登場するエキセントリックな「女の子」たち。彼女たちは自由奔放に見えても、理不尽な抑圧のなかで懸命に生きていた。優しくもパワフルな文章に、フレッシュなイラストが映える、懐かしくて新しい昔話×女子系エッセイ、ここに誕生!

「アリエナイ科学/教科書」 くられ／著

「不老不死の存在」「人造人間」「巨大モンスター」「ナノマシン」等、マンガやアニメやゲームなどでお馴染みの存在ながら現実ではお目にかかれない存在の数々。そんな空想世界の技術・設定を現代科学で読み解くと……? 面白いのにタメになるエンタメ系サイエンス。



「その悩み、哲学者がすでに

答えを出しています」 小林昌平／著

「将来が不安」「お金がほしい」「死ぬのが怖い」昔から私たちが苦しめていた人類共通の悩み。であるならば、哲学者や思想家と呼ばれる、思考そのものを生業とする人たちが、これらの悩みに答えを出しているはず。平易な言葉で哲学を学べて、あなたの悩みが解決します。



「事故物件怪談怖い間取り」

松原タニシ／著

前の住人が自殺・殺人・孤独死・事故などで死んでいる部屋や家—「事故物件」を転々としている芸人の、初の書き下ろし単行本。「ワケあり物件」の不思議な話を間取り付きで紹介した、実話を揃えた怪談集。

